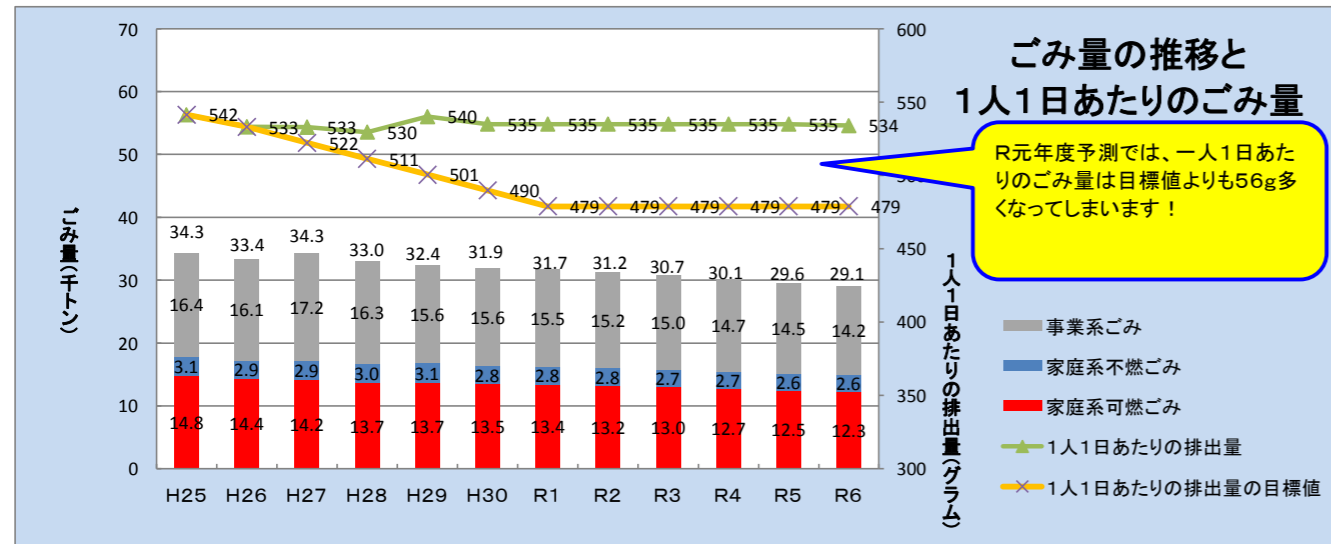


〇ごみ排出量の現状について

人口減少とともにごみの収集量は減少していますが、市民一人あたりのごみ量には大きな変化はありません。

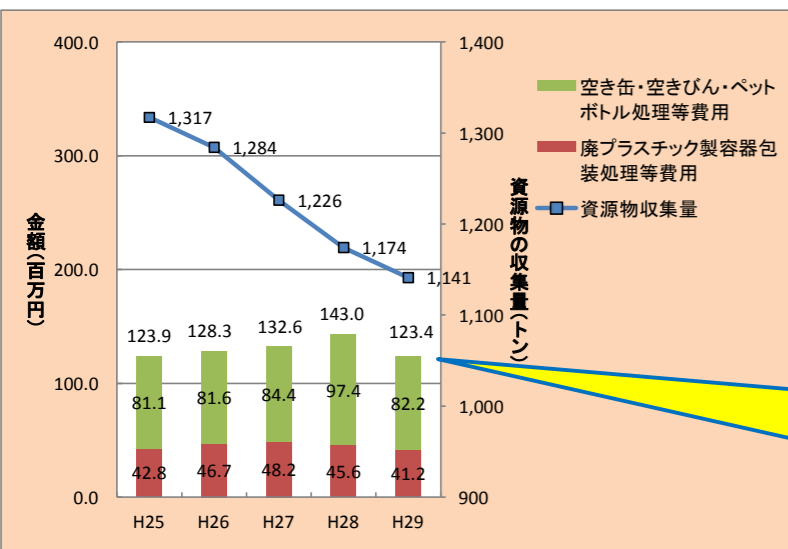
平成28年3月に策定した「室蘭市一般廃棄物処理基本計画」では平成31年度まで、市民一人1日あたりのごみ量を約11gずつ減量することを目標としていますが、ごみ量が減らないことにより、目標値と実際のごみ量が乖離してしまっている状況にあります。



〇リサイクル率について

市のリサイクル率は年々減少傾向にあり、北海道全体と比べても低く、「室蘭市一般廃棄物処理基本計画」における目標を下回っています。

■資源物の収集量及び収集運搬・処理費



■各年度のリサイクル率

年度	室蘭市	室蘭市一般廃棄物処理基本計画	北海道(参考)
H25	22.9%	-	24.0%
H26	22.7%	22.7%	24.6%
H27	21.8%	23.5%	24.3%
H28	22.2%	23.9%	24.3%
H29	21.5%	24.3%	-

・資源物の回収量はH25から5年間で、176トン減っています。  
 ・資源物はリサイクルするのに1トンあたり約108,000円の経費が必要です。(ごみ処理等は1トン当たり約28,000円)。

〇減量やリサイクルが可能なごみについて

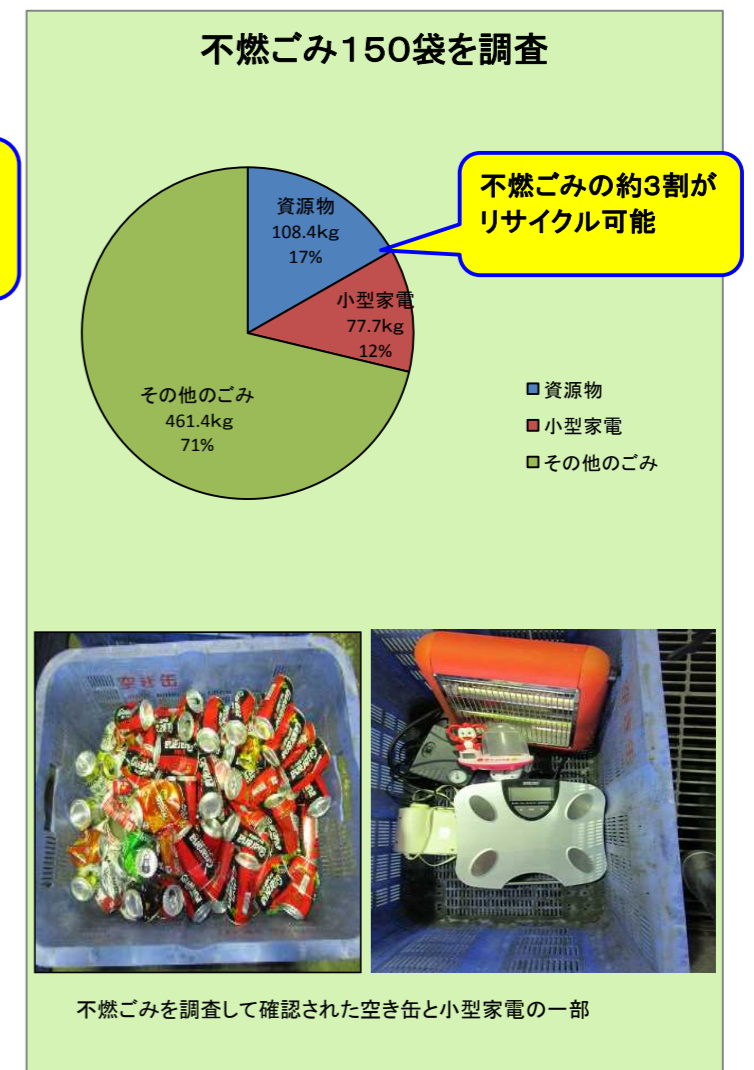
家庭系ごみの組成調査を行ったところ、食品ロスやリサイクル可能なごみ(缶、びん、ペットボトル、小型家電)が大量に排出されていることが判明しました。

〇食品ロスとは・・・まだ食べられるのに廃棄されてしまった食品のこと  
 ※食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄及び食べ残しの食品

■可燃ごみ調査(食品ロス実態調査)



■不燃ごみ組成調査



ポイント

・可燃ごみは約18%が食品ロス→H30ごみ量で換算すると約2,417tものごみが減量可能！  
 ・不燃ごみは約29%がリサイクル可能→H30ごみ量で換算すると約823tものごみがリサイクル可能！  
 ・市民全員が減量リサイクルに協力してくれたら1人1日当たりのごみ量が約428gに！  
 (室蘭市一般廃棄物処理基本計画の目標値479gと比べて51g少ない)